

鐘の音

kane-no-ne

パートナーシップさいたま
(さいたま市男女共同参画推進センター)

広報誌

vol.21

2010.7 発行



▲気軽にできるストレッチ
(「素敵に年を重ねたい! 女性のための元気アップセミナー」より)

特集 思いきって 悩みを声に出してみませんか?

相談窓口のご案内/女性の悩み相談 相談室から……………	2
●ようこそ「女・男プラザ」へ!……………	3
●これからの講座・講演会のお知らせ……………	3
●セミナーレポート……………	4
●ただいま活動中 「女と男いきいきネット」……………	4
●新編集員のみなさんです!……………	5
●コ・ラ・ム 数字……………	5
●Book Navi 図書のご案内……………	5
●施設・相談のご案内/ほっとたいむ……………	6



思いきって 悩みを声に出してみませんか？

家庭や地域、職場…様々な場面で直面する女性の悩みに専門の女性相談員がおたえします。どの相談も無料です。秘密は厳守しますので、身近な窓口として安心してご相談ください。

各相談の電話番号、場所は裏表紙右上「相談のご案内」をご覧ください。

- 家庭や地域、職場のトラブル、ママ友との人間関係、DV、デートDV
- 自分自身の悩み

「こんな心配ごと、どうしたらいいの？」
「どこに相談したらいいのかわからない」
そんなときもお気軽にお電話ください

女性の悩み 電話相談

- 婦人相談員があなたのお悩みを電話で伺います（1回あたり30分が目安です）。
- 電話相談を市内5か所で行っています。お近くのところにおかけください。
- 市内在住・在勤・在学の女性ならどなたでもご相談いただけます。

- 家庭や職場などで生じる解決困難な問題
- 例えば…

・離婚に関する調停、慰謝料、養育費
・セクシュアル・ハラスメント
・金銭トラブル

女性のための 法律相談 (電話予約)

- 女性の弁護士が直接相談に応じます。
- 相談場所は2か所あります。電話でご予約ください。
- 市内在住の女性が対象です。
- おひとり30分、年度に1回のご利用となります。

- 女性の様々な問題から生じる心の悩み
- 例えば…

・気分が落ち込む、やる気が湧かない
・漠然とした不安、眠れない
・思春期の悩み、子育て中の不安

女性のための 心の健康相談 (電話予約)

- 専門の女性の医師が直接相談に応じます。
- 相談場所はパートナーシップさいたまです。電話でご予約ください。
- 市内在住の女性が対象です。
- おひとり45分、年度に1回のご利用となります。

女性の悩み相談 相談室から

受話器のこちら側で

今、何かお困りごことがありますか？例えば…
「夫が離婚したいって、突然言ってきたんです。原因は何でしょうか…」
「大学生の子が引き籠った。なんで？あんなに勉強したのに…。どうしたらいいの？」
「ママ友との会話が苦痛です」
「姑と同居したけど、とても頑固で困っています」
「夫がリストラされて、給料が入らなくなった」
「夫が度々殴りかかって、体は痣だらけなんです。これってDVですか？」

世の中、何が起るかわかりません。本当に何が幸・不幸になるかもわかりません。時々刻々と言いますが、私達の生きている世界は、一刻一刻の変化の中でもがき、苦しみながら、みんな一生懸命生きています。でも、一人ではどうしようもなく、解決が見つからないことがあります。

女性の悩みは沢山あります。言いたいことを我慢しているあなた。どこに相談したらよいか分からないあなた。そのようなときは「女性の悩み電話相談」へどうぞ。私達は、あなたのお気持ちにいつも添うことが出来るようお願い、お電話を心からお待ちしています。
(婦人相談員 I)

ようこそ

ひとひと「女・男プラザ」へ!

「女・男プラザ」は男女共同参画のまちづくりを推進することを目的に、平成9年、緑区のプラザイースト3階に開設されました。

各種講座を実施するほか、女性の悩み電話相談、女性のための法律相談、図書の貸出し等を行っています。緑区やプラザイーストにお立ち寄りの際は、ぜひ一度足をお運びください。



▲団体活動室を利用されているみなさん

男女共同参画に関連する図書や雑誌の貸出し

団体活動室の貸出し

団体の打ち合わせ等に無料で利用することができますので、ご登録のうえ、ぜひ女・男プラザでご活動ください。

♪♪職員一同、心よりお待ちしております♪♪

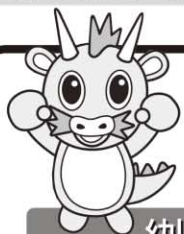


男女共同参画に関する各種講座の実施

「素敵に年を重ねたい! 女性のための元気アップセミナー」(5/29~6/19実施、P.4参照)
「男の人生塾」(平成23年1月実施予定)

女性の悩み電話相談 P.2 特集、裏表紙参照

女性のための法律相談 P.2 特集、裏表紙参照



これからの講座・講演会のお知らせ

市報やパートナーシップさいたまのホームページでもお知らせします

幼児をもつ母親のための講座

9/3 世代をこえた東京おもちゃ美術館の“遊び術”
講師：多田 千尋さん (東京おもちゃ美術館館長)

9/10 子どもを預けて学ぶ意味
講師：天童 睦子さん (名城大学教授)

9/17 「奥さん」「ママ」。呼称から考える「私」
講師：三國 隆子さん (東京立正短期大学准教授)

9/24 気づき考え、「私自身」を生きる
講師：加藤 久美子
(パートナーシップさいたま事業コーディネーター)

会場：9月3日(金)のみ桜木公民館講座室1・2
そのほかパートナーシップさいたま会議室3

時間：いずれも午前10時~12時

申込方法：8月4日(水)午前9時から電話、FAX、Eメールで、住所・氏名・電話番号、託児希望の場合はお子さまの氏名・ふりがな・年齢・生年月日・性別をパートナーシップさいたまへお知らせください。

トレンド社会学

10/4 ワークライフシナジー
~仕事と私生活、どちらも充実させる生き方~

講師：大沢 真知子さん (日本女子大学教授)

欧米を中心に女性と経済の関係について研究を重ね、国際的にも活躍される講師を迎えての講演会。女性の社会進出、労働現場における女性を活用した働き方、そして私生活上での充実した生活を実現していくために、社会の枠組みづくりから一人ひとりの意識の持ち方まで、男女共にワーク・ライフ・バランスを考える機会にしませんか。

会場：浦和コミュニティセンター多目的ホール
(コムナーレ10階)

時間：午前10時~12時

申込方法：9月3日(金)午前9時から電話、FAXで、住所・氏名・電話番号、託児希望の場合はお子さまの氏名・ふりがな・年齢・生年月日・性別をパートナーシップさいたま又は女・男プラザへお知らせください。

セミナーレポート

パートナーシップさいたまと女・男^{ひと}プラザで、5月から6月にかけて実施したセミナーを報告します。

快適に働き続けるための ハラスメント対策セミナー

5/15 「『人権を傷つける』ってどういうこと」

講師：棚村 政行さん（早稲田大学法学部教授）

セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメントなど、ハラスメントは、法的に許されない犯罪からマナー違反まで様々なものを含みますが、「人権を傷つける行為であって許されない」との基礎概念から、被害と対策まで学びました。

5/22 「ハラスメントに負けない自分になるために」

講師：横山 佳純さん

（日本弁護士連合会犯罪被害者支援委員会委員）

ハラスメントについて、加害者本人の民事責任、刑事責任や使用者固有の責任に関しては、どのような場合に違法性が問われるのかを学びました。また、記録を残すなど基本的な対処法を始め、民事裁判で労働審判を利用するなど有効な対処法を知ることが出来ました。



参加者から.....

- ◆「ハラスメントは、人権を傷つける行為であって許されないという共通認識が必要。」この言葉に大いに賛成です。許されない行為と知らずに行う無知のおそろしさは、計り知れないものです。
- ◆労働審判という制度があることを知り、有意義でした。また、今後重大なパワハラ等を受けた場合、まずは弁護士の方に相談するなどの手段をとりたいと思いました。

素敵に年を重ねたい！ 女性のための元気アップセミナー

5/29 「気軽にできるストレッチ」

講師：山田 佐世子さん（健康運動指導士）

女性のこころと体の健康に注目し、「私の“もっと輝きたい！”」を応援しようとして企画されたこの講座。1回目は気軽に出来るストレッチと筋トレ。帰宅後も続けることが重要と、椅子を使っただけの運動を行いました。

6/5 「食の改善～食品の上手な組み合わせとは？」

講師：長野 美根さん（医学博士）

大人から子どもまで、幅広い世代で生活習慣病が社会的課題となっています。その対策として、数多くの食品を組み合わせることで食べることの意味と楽しさを学びました。「その国の若者が食べているものを見るとその国の将来が見える」というフランスの諺がありますが、食材選びをしっかりと、家族で料理を楽しむことの意義を理解しました。

6/12 「カラダに優しい家庭料理」

講師：竹森 美佐子さん（NPO法人みんなの食育代表理事）

食育スペシャリスト指導のもと、「青じそ梅ちりめんご飯」など5種類の多彩な料理に挑戦。自ら作った料理に舌鼓をうった後、講師による講話もあり、好評のうちに終了しました。



6/19 「相談の現場から見えること！」

講師：黒田 安計さん（さいたま市こころの健康センター所長）

「相談に来られる人は本人より家族が多い。相談内容は、複雑に絡み合っており、問題は簡単には解決しないが相手の話に真剣に耳を傾けることが重要だ」と話されました。

ただいま活動中 「女と男いきいきネット」

男女共同参画を目的に活躍している
グループを紹介します

代表（清水 朝子）
女と男いきいきネット
えていきます。
活動していききたいと考
切にしながら、楽しく
学習意欲と、信頼を大
は今後とも会員相互の
女と男いきいきネット
年1回発行しています。
ねています。会報誌も
までミーティングを重
を開いて、納得のいく
す。市・県のフェスタ参加の際は、数多く学習会
月1回の定例会を開いて学習を深め合っています。
面を訪れ、貴重な体験をしました。女性たち」という5回の講座を開きました。フィールドワークでは荻野吟子生誕の地、熊谷・深谷方面を訪れ、貴重な体験をしました。



▲フィールドワーク「荻野吟子記念館」にて

ンダーチェック」の調査研究、行政に対しての提言、「ワーク・ライフ・バランス」、「女性が生きやすい社会をめざして」など。特にさいたま市生涯学習総合センターとの協働で「メディアとジェンダー」という2回の講座を、さらに市生涯学習支援事業補助金をいただいて「埼玉近現代史の中の女性たち」という5回の講座を開きました。フィールドワークでは荻野吟子生誕の地、熊谷・深谷方面を訪れ、貴重な体験をしました。

女と男いきいきネットは設立10周年を迎えました。2000年5月、旧大宮公民館主催事業である女・男プラザセミナーの受講生20数名の有志によって設立されました。それ以来男女共同参画社会の実現に向かって、常に社会を見つめ、学習と実践をしています。グループホームの見学、他団体の見学と交流会、「ジェンダー」の調査研究、行政に対しての提言、「ワーク・ライフ・バランス」、「女性が生きやすい社会をめざして」など。特にさいたま市生涯学習総合センターとの協働で「メディアとジェンダー」という2回の講座を、さらに市生涯学習支援事業補助金をいただいて「埼玉近現代史の中の女性たち」という5回の講座を開きました。

新 編集員のみなさんです！

市民のみなさんから公募した5名の編集員の顔ぶれが、今号から新しくなりました。

このメンバーで2年間、より良い「鐘の音」を創っていきますので、よろしくお願いします！

秋山 典子さん

これまで、女性の生き方・立場などを講座で学び、新鮮な気持ちになれたことに感謝し、「鐘の音」の編集でお役に立てれば、と思います。奥が深い様々なテーマに出会いながら、情報をお伝えしていきたいです。

五十嵐 茂樹さん

初めて携わる「編集」。緊張した日々がスタートしました。たえず新しい学習を心がけ、興味や好奇心を持ち、探求心を持ち続け頑張ります。「鐘の音」を手にする方々との出逢いを大切にしたいです。

石塚 寿美恵さん

さいたま市に移り住んで7年。「女性カレッジ」や「暮らしの女性学」を受講後、講座で知り合った仲間と自主学習グループでの活動を続けています。2年間、編集員としてパートナーシップさいたまの魅力伝えていきたいと思っています。

ト部 喜子さん

昨秋の女性カレッジに参加させていただき、「男女共同参画社会」について学習を始めたばかりです。「鐘の音」編集員として、自分と家族・社会について学びながら皆様のお役に立てれば幸いです。

鈴木 猛さん

定年退職を機に家事を担当し一年余、未知の社会を知るにつれ、頭では解っていた積もりの男女平等に対しての偏見が、自分の中にあることを実感しています。新編集員として再学習できればと考えています。

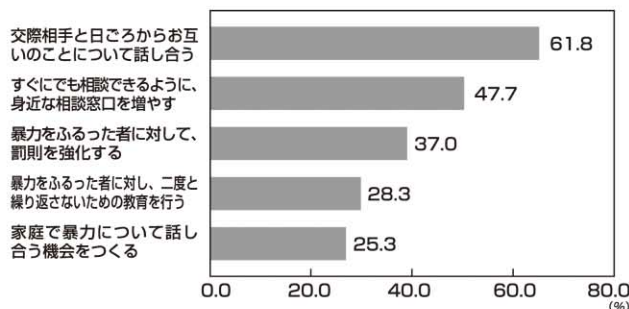


47.7%

この数字は、「若年層における交際相手からの暴力（デートDV）の防止のために必要だと思うもの」との設問に対し、「すぐにでも相談できるように、身近な相談窓口を増やす」と答えた人の割合です（平成21年度、さいたま市内の高等学校、専門学校、大学に通う生徒及び学生による回答）。

パートナーシップさいたまや女・男プラザなどで行っている「女性の悩み電話相談」では、デートDVはもちろんのこと、女性の生き方に関する悩みを婦人相談員がお受けしています（P.2 特集、裏表紙参照）。何かお悩みなどがありましたら、市民の皆様の身近な相談窓口として、どうぞお電話ください。

デートDV防止のために必要だと思うもの（上位5位）



さいたま市「若年層における交際相手からの暴力（デートDV）に関する意識・実態調査報告書」より（平成22年3月）

BookNavi

情報・資料コーナーで貸し出ししている図書のご案内です。

『ここがわが家でいちばん大事な場所！
家族のキッチン&ダイニング』
女性建築技術者の会：著 2004年〈亜紀書房〉

設計者との共同作業で“わが家流”キッチン&ダイニングを建てた方々の54の設計事例をイラストや図面を交えながら紹介。

執筆者は女性の設計者11人。仕事と家事の両立・子育て・2世帯家族など40歳から58歳の著者たちの生活体験や毎日キッチンに立っている自らの経験を生かしたアイデアが満載されています。

食事づくりは女性が独りきりで格闘する場ではなく、“家族みんなで作って、みんなで食べる楽しさ”である事がこの本から味わえ、戸建設計やマンション、建売住宅の選定時ばかりでなくリフォーム時にも参考になる図書です。家事・育児と設計業務を両立しながら現場で働いている女性の生き生きとした気力をとところどころで感じ取ることもできる本でもありました。

(五十嵐 茂樹)

『祖母力』
樋口 恵子：著 2006年〈新水社〉

働く女性の代表格として、高齢化社会に多くの提言をしてきた著者の新作である。

自ら実母の「献身的な努力」によって「就労を支えられ、孫育てに貢献」された経験を基に社会的・国際的に広い視野から「祖母力」を分析している。

親世代に比べ精神的に「ゆとり」を持って孫に接する、報酬を期待するよりも孫を育てることに幸福感を得ている等は双方にとっての利点といえる。

日本社会の急激な高齢化と女性の就労増加の中で祖父母の果たす役割は増加しているが、問題点も指摘される。現代の団塊世代は、高齢者の介護と孫の養育とのサンドイッチ状態に有り、更に自身の老化も進む等の課題である。

私も「祖母力」に頼って仕事を続けられた。今春孫が誕生し、若い世代を助ける立場となり大いに参考になった。
(ト部 喜子)

施設のご案内

	パートナーシップ さいたま	ひと ひと 女・男プラザ
場所	大宮区桜木町 1-10-18 シーノ大宮 センタープラザ 3 階	緑区中尾 1440-8 プラザイースト 3 階 <small>※浦和駅東口よりバス、「緑区役所入口」下車 又は東浦和駅よりバス、「プラザイースト南」下車</small>
開館 時間	平 日 9:00~21:00 土・日・祝日 9:00~17:00	9:00~17:00
休館 日	第 4 日曜日、年末年始	月曜日、年末年始
施設の利用		
男女共同参画の推進を目的とする活動に、ご利用ください。 (パートナーシップさいたまの会議室・プレイルームと ひと ひと 女・男プラザの団体活動室は、利用登録が必要です。)		
情報・資料コーナー、交流コーナー		
本や雑誌、行政資料、ビデオなどがあります。 閲覧、貸出しができます。ちょっとした話し合いに利用 できる交流コーナーもあります。		
お問い合わせ	048-642-8107	048-875-9966

相談のご案内

●女性の悩み電話相談

女性の生き方、夫婦、親子の問題、職場や近隣の間人関係などの相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎ 048-643-5813
月～金 / 10:00～20:00 土・日・祝 / 10:00～16:00	
ひと ひと 女・男プラザ	☎ 048-875-9653
金 / 10:00～17:00	
浦和区役所 女性の相談室	☎ 048-829-6129
月・火・水・金 / 10:00～17:00	
中央区役所 女性の相談室	☎ 048-840-6132
月・水 / 10:00～17:00	
岩槻区役所 女性の相談室	☎ 048-790-0158
月・水 / 10:00～17:00	

●女性のための法律相談(予約制)

女性の弁護士が相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎ 048-642-8107
第2・第4水曜日 / 13:00～15:30	
ひと ひと 女・男プラザ	☎ 048-875-9966
第1・第3火曜日 / 13:00～15:30	

●女性のための心の健康相談(予約制)

専門の女性の医師が相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎ 048-642-8107
第4金曜日 / 13:30～16:30	

◆相談は無料です。◆秘密は厳守します。

ほっとたいむ

暖かくなってきていたので、
数日間伸ばし続けていた髪
を切りたくなくなった。
いつの間にか腰までとど
きそうな長さになり、長い
髪に飽きてきたので、思い
切って30cmくらい短くしてもらった。
髪を短くしてみると、周囲の人達から
「ロングヘアの女性」イコール「女らしい」
「おしとやか」といったイメージを持たれ
て、女性特有の役割を期待されていたよ
うな気がする。



髪型に関わらず、私はべらんめえ口調
のガラツパチ氣質に変わりないのだが。
日常の中で感じる「？」を問いながら、
「自分らしく」のびのびと暮らしてい
たい。
(石塚 寿美恵)

定年退職後、家事を担当して一年半、
炊事、洗濯、掃除等、たいしたことでは
ない大きな勘違いをしていました。
計画的な仕入れと商品管理、無駄なく
バランスとれた料理、エコを意識した洗
濯やゴミ管理、全てが未知との遭遇とな
りました。40年の経験を持つ妻から謙虚
に教わり、時々注意されムツとしたりの
毎日です。妻と二人だけのシンプルな生
活でさえ、それなりの知恵と労力が必要
な家事を考えると、子供の養育、親の介
護、共稼ぎといった家庭環境での主婦の
役割は大変なものであることを実感して
います。
女房のそもそもの語源は、朝廷に仕え
主人の身辺に係る比較的身分の高い女性
使用人だそうだから、その身分に恥じ
ぬよう修練致しているところですが、
もっとも、相変わらず知人に妻のこと
を「女房は…」と話している私ですが。
(鈴木 猛)

広報誌「鐘の音」のご感想、ご意見をお寄せください。
郵便、FAX、E-mailでパートナーシップさいたままで
お願いします。

〈誌名「鐘の音」〉

大宮の古い地名「鐘塚」に建てられた「パートナーシップさいたま」から、男女共同参画推進の鐘の音を響かせたい、その願いを込めて名づけました。

パートナーシップさいたま広報誌「鐘の音」vol.21 2010年7月25日発行

<編集・発行>

さいたま市男女共同参画推進センター(愛称 パートナーシップさいたま)

編集員/秋山典子・五十嵐茂樹・石塚寿美恵・ト部喜子・鈴木 猛

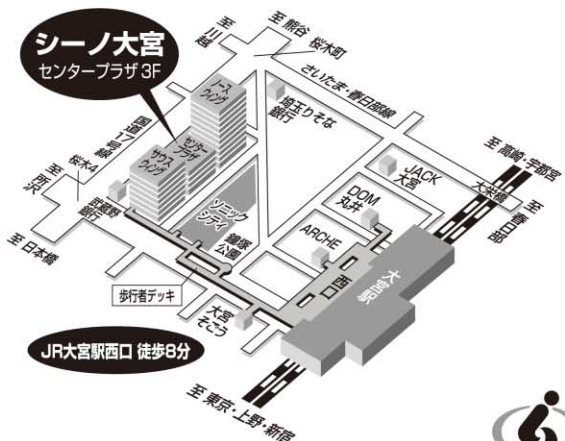
〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-10-18シーノ大宮センタープラザ3階

電話 048-642-8107 FAX 048-643-5801

E-mail: danjo-kyodo-sankaku@city.saitama.lg.jp

7・11・3月発行(年3回)

この広報誌は4,300部作成し、1部当たりの印刷経費は18円です。



自転車でお越しの場合、シーノ大宮駐輪場が無料でご利用になれます。

